



同友会の活動
はこちらの
QRコードか
らご覧いた
だけます。▶

**8**

2025年

月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



七月十五日(火)・十六日(水)の二日間、群馬建設会館を会場に「二〇二五新入社員フォロー研修会」を開催。十七社より二十九名、経営者側を含めて約七〇名が参加しました。

一日目は「入社三ヶ月間を振り返りつつ働いて得られる未来を知ろう」をテーマに、「ここまでの成長と課題」「仕事の基本となる八つの意識」「失敗の活かし方」「上手な仕事のコツ」の講義やグループ討論などを実施。適宜行われたグループ討論では、学びや気づきのシェア、今後の仕事にどう活かしていくかなどを率直に語り合いました。

二日目は「新入社員としての一年で何を不得ようになりたいかを設定しよう」をテーマに、「報連相を身につけよう」「社会人として知っておきたいお金の話」「目標設定のコツ」の講義やワーク、グループ討論などを実施した上で、各自が来年三月までの「目標&行動計画書」を作成しました。

受講生が記した研修レポート&経営者側の感想(抜粋)を左記に掲載します。

○曖昧だった仕事に対する意識や目標設定を再認識すると同時に、新たな学びを得る機会にもなった。

○普段は言いにくい不安や悩みを近い年齢の相手に打ち明けられ、お互いが持つ経験や知識を交流できたことがとても良かった。

○グループ討論の機会がたくさんあり、他者の考えや意見から学ぶことが多かった。経営者の方とも気軽に話せて勉強になった。

○メンバー間でのフィードバックにより、自分の長所や欠けているものが分かった。良い点は伸ばし、悪い点は改善できるように努力していきたい。

○四月の研修会から「自分はとう成長したのか」が比較でき、同友会の研修会に続けて参加することの大切さを感じた。

「経営者」

○じっくりと自社の社員と話す時間があり、社員の考えていることや目標などを細かく知れた。社員に対する印象も変わった。

○社内に同期がいないため、他社の同世代と話す機会は大変貴重。本人にとって良い刺激や学びになったと思う。



社員と経営者が共に学び合う！

2025新入社員フォロー研修会

活用の仕方がよくわかる!

▼同友会オリエンテーション▼

六月十一日(水)、同友会事務所・会議室を会場に「同友会オリエンテーション」を開催。新会員・入会希望者に同友会への理

解を広めるため、既存会員により深く知ってもらうために企画され、それぞれが効率的で効果的な「同友会の使い倒し方」の

ヒントを持ち帰りました。



これまでオリエンテーションの設営主体を各支部としていましたが、今年度より理事会(総務会)が主体となっ

て活用している各支部、各委員会・部会の中心メンバーなど二十二名が参加しました。はじめに「同友会とはどうゆう会か?」と題して、阿久澤事務局長が会の歴史や理念、各組織の活動内容などを丁寧に説明。それらを踏まえて「天は自ら助くるものを助く。ぜひ自主的・積極的・主体的・能動的に参加してほしい」と参加者に訴えかけました。また、説明の補足資料として「同友会紹介(五〇周年記念)動画」が上映されました。

次いで前代表理事の(株)サンテックス・田村氏(富岡安中支部)が「同友会と私の経営」気づきと学び、そして行動」をテーマに、同友会との向き合い方や活動を自社経営にどう生かしてきたかを事例を交えて報告。「一つ行動を起こせば、次の課題が必ず見えてくる」「他人を言い訳に使うな。全ては自分(経営者)の責任」「同友会のメリットは自分で探す。自分で気づきを得ることが大事」など、ときに厳しい言葉を交えて同友会の魅力を伝えました。



その後は「同友会の上手な使い方」をテーマにグループ討論を実施。同友会の各種活動に対する質疑応答や参加者それぞれの活用術を交流したほか、新会員の悩みや経営課題に皆で寄り添い、的確にアドバイスする様子が多く見られました。

参加者アンケートには「新会員の方には、ぜひオリエンテーションに参加してほしい」「異業種の経営者から新たな視点でのアドバイスがもらえて有意義だった」「せっかく入会したのだから、どんどん同友会を使い倒していきたい」などの感想が綴られていました。

限りある資源を、次世代へ。

株式会社エスティビー
Zero Emission Stability Topline Business, Co., Ltd.

経営理念「絶やさぬために」
私たちは、自然・静寂の循環型物流力で、人と社会の生命活動を支え続けます。

住所 〒379-2123 群馬県前橋市山王町 1-19-14 連絡先 TEL: 027-212-3312

◎お気軽にご相談ください。他中小コンベンションも多数あります。

5 ビッグコンベンション

◎他県からも便利な磯部温泉 東京よりJRで1時間◎

会議⇒温泉⇒宴会⇒宿泊⇒会議

スクール形式 最大700名可能

ふくむ人 会館
ホテル磯部ガーデン TEL: 027-385-0085

これがわたしの パン屋さん！

桐生みどり支部6月例会

六月二十六日（木）、桐生市職業訓練センターを会場に「桐生みどり支部六月例会」を開催。パン・洋菓子の製造販売を手掛けるランコントレ、代表・長井可奈子氏（同支部）が「これがわたしのパン屋さん〜まいにちを少しだけ豊かにする ごほうび店のつくり方〜」と題して経営体験を報告しました。

二〇一三年、パン職人の父とパティシエの姉が営む二店舗を統合し、移転リニューアルした同社。長井氏は、オープン直後の妊娠・出産、コンセプトぶれの迷走期、強みを生かした商品開発やコロナ禍での各種取り組みなどを時系列で振り返りました。「職人ではない自身の存在意義に葛藤した時期もあった」と言いますが、報告のまとめでは「パン×ケーキ+a。その+aをつくるのが私の使命。これがわたしのパン屋さん」と胸を張って言えるお店を目指したい」と語りました。



青年経営者フォーラムin 群馬の直前プレ報告

高崎支部6月例会

六月二十五日（水）、ビエント高崎（+Zoom）を会場に「高崎支部六月例会」を開催。直前に迫った「関東甲信越青年経営者フォーラムin群馬」のプレ例会として企画され、(株)Metaplant、代表取締役・平野達矢氏（神奈川同友会）が「『自社のコア』を正しく認識していますか？」をテーマに報告しま

した。

通常例会とは志向を変え、フォーラム本番に向けた報告者へのフィードバックと例会づくりに関わる意義を体感してもらうことを目的に企画された本例会。フォーラム当日も座長を務める川田氏（埼玉同友会）によるリードのもと、平井氏も本番さながらの時間・熱量を持って自身の経営体験を語りました。

その後、所定のフィードバックシートに参加者が記入した上で、報告に対する率直な感想や意見をグループ内で交流。「もつと事例を盛り込んだ方が良いと感じた」「コアの部分をしっかり話してほしい」「座長と報告者の伝えたいことが一致しているか疑問」など、厳しいながらも愛のある指摘が数多く出されていました。

本例会を受けて、当日までにどこまで報告内容がブラッシュアップされるのか？ぜひ期待してお待ちください！

『同友ぐんま（通常号）』

広告募集

【広告料】 2万円（一口×6回掲載）

【スペース】 縦44mm×横87mm（一口分）

*掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします

群馬中小企業家同友会・事務局

TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666

経営指針をつくる会

オリエンテーション

経営労働委員会

六月二十日(金)、同友会事務所・会議室を会場に「第三十期経営指針をつくる会オリエンテーション」を開催。いよいよ八月からスタートする今期の

「つくる会」の前に、その理解と参加判断の機会として企画・運営されました。

はじめに「同友会がめざす経営指針とは？」と題して、(有)小



板橋産業・小板橋氏(経営労働委員長)が経営指針の全体像と作成意義を説明。続いて「経営指針作成で我が社はこう変わった」と題して、(有)中島

イーディーエム・中島氏、(有)橋田機設・橋田氏の二名が、昨年度、初めて参加するに至った経緯や参加しての感想、作成後の変化・成果や今後の課題などを率直に語りま



した。最後に「開催概要・カリキュラムの説明」として、(株)skymaネジメントコンサルティング・鈴木氏が、全六講のカリキュラムと各講におけるポイントを語りました。

四名それぞれの視点から語られた経営指針成文化の意義や価値、魅力によって、その場で数名が「つくる会」への参加を表明。今期も盛会が予想されます。

沼田支部のこれから

沼田支部6月例会

沼田支部では、六月二十五日(水)、(有)果実庭を会場に支部例会を開催。「沼田支部のこれから」と題して、今年度より沼田支部長に選任された(有)果実庭、代表取締役・桑原裕和氏が体験報告/所信表明を行いました。

経営指針をつくる会での学びや挫折、会員企業と進めたブランディングなど、数々の取り組みを紹介した桑原氏。「計画や方針など、学べば学ぶほど自社の課題に気付くと同時に、伸びしろがある事にも気付かされる」と、学び続ける理由を語りました。

また、今後の沼田支部としては「会員のやりたい気持ちを優先し、既存会員が楽しく学び、それぞれが魅力的な会社・経営者になっていけば周りの経営者の目も向いてくる」として「要望に答えられる柔軟な例会づくりを目指す」と支部長としての考えを伝えました。

報告後のグループ討論では「沼田らしさ、地域の特徴を活かしたい」「会員の得意分野を掘り下げる例会」「他支部との積極的な合同企画」など、今後の例会案が聞こえてきました。



会社が変わる！ 経営者を変える！

富岡安中支部6月例会



富岡安中支部では、六月二十七日（金）、富岡地域づくりセンターを会場に「会社が変わる！経営者を変える！」経営指針十七年の軌跡」と題して、(株)アイテクスシステム・代表取締役、戸塚美秀氏（高崎支部）が、経営指針をつくる会での学びを中心に体験報告を行いました。

十七年経営指針をつくり続け、ブラッシュアップを重ねる戸塚氏は、一年目の「経営理念

売上目標に上限を設定し、課や部下に還元することで組織の成長を促す考え方、掃除の時間も勤務時間に含むといった働く環境の改善についても触れました。

経営指針成文化による改革の一端を垣間見る例会でしたが、全てを網羅するには時間が足りず、もっと細かく聞きたくなる、経営ノウハウの詰まった例会となりました。

同友会と経営、 不離一体の歩み

渋川吾妻支部6月例会



六月十九日（木）、渋川市中央公民館を会場に「渋川吾妻支部6月例会」を開催。不動産業の(株)ハセイプランニング、専務取締役・周藤亮佑氏（青年部長／桐生みどり支部）が「同友会と経営、不離一体の歩み」九年間の学びの集大成とは？」と題して報告しました。

人生のターニングポイントの一つとして「同友会への入会」を挙げた周藤氏。その理由について「自分の悩みを吐き出せる唯一の場所」「人間的に成長できた」「自分がいかに恵まれていたか気づけた」と語り、同友

会と経営、不離一体のエピソードを紹介しました。今回の例会には同社社長（周藤氏の母）も参加しており、報告のまとめでは「しっかりと対話し、社長の思いを引き継いでいきたい」と事業承継への決意を語りました。

報告終了後は「次の世代に何を継がせたい？上の世代から何を継ぎたい？」をテーマにグループ討論を実施。「誰かのために」という視点」「二代目に足りない創業者のハングリー精神」「腹の括り方（信念）」など、活発な意見が交わされました。

アルミ精密部品の切削加工メーカー 株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

採用力 を磨く

訴求力 を磨く

PRの魅力をどのように活かすのか、進めたいのか

Que Project inc.

▶リクルーティングプランニング
▶デザインツール制作

合同会社キュー・プロジェクト <https://que-project.co.jp>

自社の課題と今後の展望

伊勢崎支部6月例会



六月十七日(火)、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部六月例会」を開催。「自社の課題と今後の展望」新会員二名の報告をもとに全員で考える――」をテーマに、こばやし社会保険労務士事務所・小林正子氏、矢内精工(株)・矢内慶之氏(いずれも伊勢崎支部)が報告しました。

小林氏は、これまでの自身の歩みや今年二月の開業に至る経緯などを細かく説明。「開業から間もないこともあり、まずは顧客獲得を進められれば」と喫緊の経営課題を語りました。続いて矢内氏は、会社紹介や入社

経緯の説明、自身が中心となって進めた新規事業について振り返った上で、現在の経営課題を率直に報告。また、今後の展望として「新規事業の売上拡大と合わせ、事業承継に向けた組織づくり」を挙げました。

その後は「報告者二名の課題と展望へのフィードバック」をテーマにグループ討論を実施。営業力の強化・顧客との信頼関係・事業承継・組織づくりなど、報告者に対する具体的な提案やアドバイスを各テーブルから出されました。

教えて！新会員さんのこと

太田支部6月例会

太田支部では、六月二十六日(木)、テクノプラザおおたを会場に「新会員オリエンテーション」教えて！新会員さんのこと」と題して支部例会を開催。

対象となった(株)さきたま仕事と介護の両立・代表取締役、高橋正俊氏が自己紹介と会社紹介を行いました。弁護士としてのキャリアや今の事業を始めたきっかけなどが紹介され、その行動力・決断力が垣間見える内

容でした。その後「先輩会員が同友会で学んだこと」として、(株)キレイスキー・樋口氏が経営指針をつくる会を中心とした活動を紹介します。神保支部長が支部例会を中心とした同友会全般の活動紹介を行いました。

双方の紹介が既存会員への気付きにも繋がり、太田支部一丸に一步近づく例会となりました。参加者アンケートには「高橋さんの事がさらに知りたくなっ



た」「弁護士業だけでなく事業を手掛けるパワフルさに圧倒された」「支部会員の業種が増える事は頼もしく嬉しい」といった感想が記されていました。

座禅例会「目標設定と共有」

前橋支部6月例会

前橋支部では、六月二十三日(月)、如意寺(村田賢秀氏/前

橋支部)を会場に、恒例となつた座禅例会を開催しました。



経営者という立場から離れ、心を落ち着かせる時間として好評を得ている本例会は、支部活動のスタートとして、前年度に立てた目標の振り返りと新たな目標設定の機会として定着しています。



明かりを落とし静寂に包まれた本堂の厳かな雰囲気の中、時折響く肩を打つ警策の乾いた

音。その音が姿勢を正すきっかけとなり、最後まで集中して座禅を終えることができました。座禅の後はグループに分かれ、それぞれのテーブル毎に昨年の目標に対する達成度を共有しながら、今期の目標を埋めていきました。記入・回収したシートは、来年の座禅例会で振り返ります。

「目標を掲げて終わりにせず振り返り、検証する事が大切」「昨年書いた内容は忘れていたが、結果として目標を達成していた」といった感想が聞かれました。

会員たんしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【先人の志 次世代へ】

しののめ信用金庫

しののめ信用金庫（理事長・横山慶一氏／富岡安中支部所属）は23日、高崎市内のホテルで創立100周年記念式典を開いた。総代やOBなど関係者約240人が出席して節目を祝った。

横山理事長は同信金の歴史を振り返り、「地域金融機関の創業に挑戦した先人たちの志を役職員が共有し、次世代に引き継がなければならない」と力強く呼びかけた。記念品の紹介や記念動画の放映なども行われた。

同信金は1925年設立の有限責任富岡信用組合が始まり。改組などを経て、かんら信用金庫に名称を変更。2007年に多野信用金庫、ぐんま信用金庫と合併して現在の体制となった。

[6 / 24付上毛]

【サイダー試作 看板商品に】

工舎 澄み処

新たな看板商品を生み出そうと、みなかみ町のJR上毛高原駅内にあるコーヒースタンド「イヌワシストア」は、同店でドリンクの試作会を開いた。従業員らがハーブウォーターを元にしたサイダーを飲み比べ、感想を言い合った。

アロマオイルの製造や販売を手がけるsumikaの山口長士郎さん（工舎 澄み処／沼田支部所属）が協力した。町内で採取したスギやマツ、ハッカなどの葉や砕いたコーヒー豆を蒸留してつくったハーブウォーターを炭酸水で割って香りや味を確認した。

[6 / 28付上毛]

【作ろう理想のコーヒー】

(株)大和屋

地域愛を育んでもらおうと、前橋工科大学とコーヒー製造販売の(株)大和屋（取締役会長・平湯正信氏／高崎支部所属）は、学生を主体としたオリジナルブレンドコーヒーの開発を進めている。第2回ミーティングが前橋市六供町の大和屋珈琲前橋六供店で開かれ、学生6人と社員が理想の味を探った。

今後、パッケージデザイン製作も学生が手がける。オリジナルコーヒーは年内の販売を目指している。

[7 / 8付上毛]

【公募型共同研究事業に7社選定】

(有)岩崎鉄工

群馬産業技術センターは9日、本年度の「公募型共同研究事業」の実施企業7社を決定したと発表した。

同事業は、4月に県内の中小企業から製品や技術開発テーマを公募。申請した7社が、県内の大学などの外部識者を含む審査会を経て実施企業に決まった。同センターと共同で製品開発に取り組む。経費の上限額は1件当たり400万円で、県が半額（最大200万円）を負担する。

実施企業は次の通り。(有)岩崎鉄工（代表取締役・岩崎真氏／太田支部所属）※会員企業のみ抜粋。

[7 / 10付上毛]

【事故防止に向けた安全大会】

石川建設(株)

総合建設業の石川建設(株)（支店長・石川貢氏／太田支部所属）は11日、同市内のホテルで工事現場の事故防止に向けた第49回安全大会を開いた。社員や協力業者180社の従業員ら計200人が参加し、安全への意識を高めた。

石川社長は「暑い日が続く中、体調悪化する人がいたらいち早く見つけること。安全は一人一人の自覚が大切」と呼びかけた。

安全な工事に貢献した協力業者6社と3人、無災害の社員5人に表彰状が贈られた。会場全体で「ゼロ災でいこう、よし」などと唱和し、労働災害の防止を誓った。

[7 / 12付上毛]

【再エネ発電の安定研究】

共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学（学長・大森昭生氏／前橋支部所属）は14日、デジタル共創研究センターの研究が、再生可能エネルギー発電の安定的な活用システムにおけるサイバーセキュリティの国際標準策定を目指す経済産業省の「省エネルギー等国際標準開発（国際電気標準分野）」に採択されたと発表した。

政府は2040年までに太陽光発電を主力電源の一つとすることを計画しているが、セキュリティの脆弱さが課題となっている。発電装置といった機器類の供給網が国内外に広がる中、国際的な規格を定めることがセキュリティ確保の上で重要になっており、同研究センターに策定を委託した。

研究には経営学や教育学の専門家も参加。同市を中心とする産業界、マレーシア科学大とも連携して進める。大森学長は「地方から世界へという動きのモデルになる」と期待した。

[7 / 15付上毛]

【親子でゲーム、実験】

五州園(株)

ゲームやワークショップを通じて親子の関係を深める「あそびラボ」が23日、前橋市小相木町の結婚式場、アメイジンググレイス前橋で初めて開かれた。参加した親子が、科学実験やゲームを楽しみながら絆を強めた。

イベントは、子育て中の経営者らでつくる「Teamアメイジング」が主催。メンバーで同式場を運営する五州園(株)の萩原隆史社長（前橋支部所属）は「子どもや子育てに関する仲間づくりや悩み共有、課題解決のきっかけの場になればうれしい」と話した。イベントは今後も継続する予定。

[7 / 24付上毛]

【事務所移転】

(有)太雅建物、代表取締役・太田雅之氏（高崎支部所属）では、この度、下記の通り事務所を移転しました。

〒371-0044 前橋市荒牧町2-35-3

新会員 ご紹介

7 月度常任理事会承認
会員名簿追加録(順不同・敬称略)

企業名・役職・氏名・生年・所在地・電話・FAX・業務内容・趣味・紹介者

(株)小林産業

〒372-0023 伊勢崎市柏川町1823

TEL: 0270-25-2510

FAX: 0270-25-2547

サービス業、廃棄物処理

キャンプ

【紹介者/中島徳衛】

伊勢崎市で、鉄・非鉄金属再生資源業を営んで60年となります。「環境と人にやさしいリサイクル企業」として、地域に密着したりリサイクル事業を進めてまいります。再入会となりますが、よろしくお願ひ致します。



代表取締役

浦 部 幸 也
S43年生

伊勢崎支部

第3回 理事会報告

日時 七月一日(火)十九時
※今回も同友会事務所とオンライ
ン併用のハイブリッド開催
となりました。

出席者(順不同・敬称略)
正副代表理事/町田、阿久戸、
佐藤、小林、理事/小坂橋、山
崎、石原、神保、佐藤、周藤、
齋藤、鈴木、諏訪、平野、池沢、
小池、吉池、茂原、本多、中西、
田村、関口、小柴、小川、事務
局/阿久澤、竹内(役員計

【議事】

阿久戸副代表理事が議長をつ
とめ、町田代表理事挨拶のもと、
第三回理事会開催。

I. 報告連絡事項

1. 上半期支部還元金支払報告
上半期支部還元金の支払報告
が事務局よりありました。

2. 各支部・部会・委員会等の
案内報告
各組織担当者より、活動報告
や今後の計画、依頼事項などが
ありました。

3. その他

① 八月五日「役員研修
交流会」の開催概要の
確認と合わせ、理事・
各支部運営委員への参
加依頼(再依頼)が町
田代表理事よりありま
した。

② 八月二八・二九日開
催「第九回経営労働問
題全国交流会in茨城」
参加案内がありました。

③ 九月四・五日開催
「第二八回女性経営者
全国交流会in東京」参
加案内がありました

二十四名)

II. 審議・承認事項

1. 関東甲信越青年経営者
フォーラムin群馬の最終確認
七月十二日開催「第十一回関
東甲信越青年経営者フォーラム
in群馬」の最終確認(参加申込
状況・タイムスケジュールなど)
が周藤実行委員長よりありまし
た。

2. 入退会者承認と仲間づくり
推進について
前回理事会以降の入会者一
名、退会者三名を承認。会員数
は五十一名となりました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換
総務会からの問題提起を受け
て「経営課題や業界動向、各社
の取り組み」をテーマに意見交
換を行いました。

2. 第四回理事会の開催確認

次回理事会を役員研修交流会
の中で開催することが確認さ
れ、議長は小林副代表理事が担
当することになりました。

■日時/八月五日(火)

■会場/温もりの宿 辰巳館

(役員研修交流会の冒頭)

環境を思う、未来を想う
あらためて誓う
上武印刷

優れた環境適応性。
より高精細で美しい仕上がり
「水なし印刷」システム

「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有
害な廃液を0にし、その結果CO₂を削減
します。環境への負荷が格段に少ない
印刷システムです。

ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を
オンデマンド印刷

オンデマンド印刷は、「必要な時、必要
なだけ」の印刷でムダがなく、環境面
で優れています。また、印刷コストを抑
え、納期も短縮できます。

私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。

群馬県環境GS認定事業所



上武印刷株式会社

〒370-0015 高崎市島野町890-25

TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/



面倒な会計業務はお任せを!!

電子帳簿保存法・インボイス制度対応の簡単クラウド会計

統合型クラウド財務管理システム

KEEPERClub

同友会 株式会社 シスプラ ☎ 0120-638-377



軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせ自由設計、コスト削減(事務所、店舗、倉庫、他)

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2
TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102
URL http://kk-sanei.net/